

「学習・言語心理学」受講生の皆様

お詫びと訂正

このたびは、弊社講座を受講いただきましてありがとうございます。

「学習・言語心理学」の知識インプット講義のテキストに誤植がありました。お詫びを申し上げますとともに、下記の通り訂正させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

京都コムニタス

記

テキスト p.6 末尾に以下の段落を追加してください。

「メトロノーム 112 拍節音に対して条件反応を形成した後に、メトロノーム 80 拍節音を呈示すると般化が生じる。しかし、メトロノーム 112 拍節音に対しては無条件刺激 (US) による強化を与え、メトロノーム 80 拍節音に対しては強化を行わない**分化強化** (differential reinforcement) を反復すると、メトロノーム 80 拍音節に対する般化は消失し、条件反射はメトロノーム 112 拍音節のみに生じるようになる。これを**分化** (differentiation) という。しかし、条件刺激 (CS) と極めて類似性の高い刺激を用いて動物に分化の訓練を行うと、動物は異常な興奮状態に陥り、簡単な分化も不可能になり、更に日常の行動にも異常をきたす。この現象を**実験神経症** (experimental neurosis) と呼ぶ。」

以上

京都コムニタス

TEL : 075-662-5033

MAIL : info@kyoto-com.net